

# 田野畑村地域漁業復興プロジェクト

岩手県下閉伊郡田野畑村

事業実施者：田野畑村漁業協同組合

使用船舶名：第二十八たのはた丸(12トン)  
第三たのはた丸(4.99トン)  
第三十六たのはた丸(2.1トン)

支援期間：平成26年4月1日～平成29年3月31日

(定置漁業)

## (取組の内容)

- 操業体制・漁場の再編：大型定置網2ヶ統(5隻)体制から大型定置網1ヶ統、小型定置網1ヶ統(3隻)体制にすることによりコスト削減
  - ・ 5隻(19トン2隻他3隻)の体制から3隻(12トン1隻他2隻)体制にすることにより燃油費及び修繕費等を削減
  - ・ 大型定置網を小型化することにより漁具漁網の修繕費、防藻加工費の削減
- 網起こし船導入：
  - ・ 魚槽水温計の活用による氷の適切な使用により漁獲物の鮮度管理の向上
  - ・ 新型漁労機器導入とデッキのフラット化により作業性・安全性・効率性の向上
- サケ種卵確保対策への協力



## (事業の成果)

- 漁船5隻体制を3隻体制とすることにより、**燃油消費量**は計画(36kℓ/年)に対し3年平均で14.5kℓとなり**60%削減**された。定置網1ヶ統を小型化したことにより、**漁具修繕費**は計画(6,500千円/年)に対し2,674千円(3年平均)、**防藻加工費**は計画(4,000千円/年)に対し2,897千円(3年平均)と、**それぞれ59%、28%削減**できた。
- 新網起船の導入と魚槽内の水温管理により鮮度が向上し、**販売単価が計画(262円/kg)に対し6%(15円/kg、3期目)上がった**。  
新型漁労機器等導入とデッキのフラット化により安全性が向上し、網上げ時間が短縮(1hr/日、聞き取り)された。
- 卵の不足が見込まれる場合にサケ(海産親魚)をふ化場へ販売した。また、垣網を短縮することにより親魚の河川そ上を誘導し、資源管理に貢献した。